

ライフケアガーデン湘南 特定入居

症例概要 利用者氏名：IN様 (70代 女性 要介護4)

利用期間：平成29年9月～現在

レビー型認知症 転倒による右上腕骨折

看護師・栄養士・リハビリ・介護が連携をはかり、褥瘡が軽減され、食事摂取量が増え体重が23kgから40kgへ増え活動量が向上、笑顔が増えた事例

内 容

平成25年に抑うつ状態となり内科通院。摂食量低下、低Na血症で入院。夜間せん妄が高じ精神科に転科する。レビー小体型認知症と診断された。退院するも摂食不良、不穏となり介護困難との事で当施設に入所することとなった。入所当初は体重23キロ、仙骨部に6センチほどの褥瘡があり、活気なし（臥床多く過ごされていたとのこと。）食事も粥、刻み形態で対応 自力で摂取出来ず介助にて召し上がる。

今後の方向性として

- 1) 栄養会議にて栄養士を交え栄養状態の見直し
- 2) 介護側で体位交換の実施、離床プラン設定、毎日のレクリエーション実施 リハビリとの連携、歩行・ROM訓練 開始
- 3) NSとの連携で褥瘡部清潔維持と処置とした。

話し合いの結果

- 1) 毎食たんぱくゼリー提供
- 2) 昼夜問わず2時間毎の体交実施（居室に体交表貼る）1日2回離床、毎日のレクリエーション参加 定時排泄トイレ誘導実施
- 3) 毎日洗浄 毎週写真を撮り状態把握

それ以外では、ご本人の趣味のダンスの話題やその時に教えていた生徒の話など傾聴し、ユマニチュード、コミュニケーションを図りました。結果現在ではADLが上がり主食軟飯、副食1口大、自力摂取され殆ど残すことはありません。体重も40キロになり、褥瘡も2センチほどまで小さく改善されました。入居当時お声を掛けても無表情で返答もなかったI様ですが、今は毎日のレクリエーションに積極的に参加され冗談を言っは周りを和ませてくれています。先日ご家族が面会の際に、「顔色も良く表情が変わった。本当にライフケアガーデンに入居してよかった」と感謝のお言葉を頂きました。これからもチーム連携を基本とし、心豊かな生活環境を提供していきたいと思ひます。